



# 早春の室内楽



武田忠善 クラリネット



永峰高志 ヴァイオリン



久元祐子 チェンバロ



沢田千秋 ピアノ



清水華澄 メゾ・ソプラノ



阪田宏彰 チェロ



吉澤萌依子 ヴァイオリン



坂上ちひろ ヴィオラ

国立音楽大学と立川市の連携協力に関する協定の締結を記念して始まったコンサート。早春の室内楽シリーズ第5弾！  
国立音楽大学教員等による演奏とお話をお楽しみください。

## program

バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988 よりアリア／ヘンデル：ヴァイオリン・ソナタ第4番 ニ長調 Op.1-13 HWV371  
シューベルト：岩上の羊飼い Op.129 D965／モーツァルト：クラリネット五重奏曲 イ長調 K. 581

※曲目、曲順は変更となる場合がございます。

2022年 3月27日(日)

15:00開演 (14:15開場)

たましんRISURUホール (立川市市民会館) 大ホール

チケット料金(全席指定)

一般 ¥1,000 / 高校生以下 ¥500 / ムーサ友の会会員 ¥900

※本公演は車椅子使用者のためのお席がございます。チケット購入時にお申し出ください。  
※未就学児の入場はご遠慮ください。

開催にあたり、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて実施いたします。  
詳細はホームページをご覧ください。皆様のご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。

プレイガイド

●たましんRISURUホール[窓口/電話]

TEL. 042-526-1311

受付時間9:00～20:00/第3月曜(祝日の場合は翌平日)休館

●財団オンラインチケット

立川 地域文化

<https://www.tachikawa-chiikibunka.or.jp/>

※お得で便利な「ムーサ友の会」へのご入会は、インターネットからご自身で簡単に行えます！

●2021年11月22日(月)一般発売開始/ムーサ友の会先行発売:11月20日(土)

※発売初日は電話予約、オンラインチケットのみ(10:00～)。

※発売初日はお一人様5枚まで購入できます。

主催:公益財団法人立川市地域文化振興財団 企画・制作:国立音楽大学



# Profile

国立音楽大学コンサート

## 武田 忠善 Tadayoshi Takeda クラリネット

1975年国立音楽大学卒業、その後フランス国立ルーアン音楽院にて巨匠ジャック・ランスロの許で研鑽を積み、同音楽院にて一等賞を得て卒業。1977年パリ・ペラン音楽コンクール第一位、1978年第47回日本音楽コンクール第一位、続く第35回ジュネーブ国際音楽コンクールでは日本人初の入賞をはたし銅メダルを受賞。古典から現代音楽に至る幅広いレパートリーを持ち、楽器の可能性をも越えた甘美な音楽性とその妙技により多くの人々を魅了し続けるとともに、我が国最高峰のソロ・クラリネット奏者として、その地位を不動のものにしている。

教育面においても、多くの逸材を育てる他、パリ国立高等音楽院教授ミシエル・アリニョン氏の招きに応じて同音楽院において東洋人クラリネット奏者としてはじめて、マスタークラスを行う。その他、アメリカ、シンガポール、韓国、台湾、スペインに招聘されるなど、正当なフランス派を伝える事の出来る数少ない演奏家、教育者である。国立音楽大学学長・特任教授。

## 永峰 高志 Takashi Nagamine ヴァイオリン

1980年東京藝術大学卒業、NHK交響楽団に入団。第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。2012年NHK交響楽団より同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団する。

現在、オーケストラとの共演やリサイタル等ソリストとして、ウォルフガング・サヴァリッシュ、ペーター・シュミードル、ヴェンツェル・フックス各氏との共演等室内楽奏者として活躍している。また、新日本フィルハーモニー管弦楽団等のオーケストラにゲストコンサートマスターとして出演し、好評を得ている。近年は、シュトゥットガルト室内管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団等を指揮し好評を得るなど、指揮者としても活動の場を広げている。

現在、国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にあたっている。また2010年より岩手県久慈市文化会館（アンバーホール）の芸術監督を務めている。

2020年7月25日マイスター・ミュージックよりアルバム「ロマンス」をCD・LPレコード・ハイレゾ配信のメディアで同時リリースした。ピアノは本学教授久元祐子氏。使用楽器：ストラディヴァリウス1723年製「ヨアヒム」(国立音楽大学所有)

## 久元 祐子 Yuko Hisamoto チェンバロ

東京藝術大学卒業、同大学院修了。ウィーン放送交響楽団、ラトヴィア国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など内外のオーケストラや合奏団と多数共演。

音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。ブロードウッド(1810年頃製)、ペーゼンドルファー(1829年製)、ブレイエル(1843年製)、エラール(1868年製)などの19世紀オリジナル楽器を所蔵。それら歴史的楽器の演奏・研究にも取り組む。

ショパン生誕200年記念年には、全国でブレイエルの演奏会に出演し軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后(現上皇皇后)両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルが高い評価を受け、ペーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。「優雅なるモーツァルト」(毎日新聞CD特選盤、レコード芸術特選盤)などCD16作をリリースし、「ベートーヴェン:テレーゼ、ワルトシュタイン」はグラモフォン誌上「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を受ける。園田高弘賞、毎日21世紀賞などを受賞。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「ショパンとブレイエル・ピアノ」(学研プラス)など多数。

国立音楽大学及び大学院教授、ペーゼンドルファー・アーティスト

<https://www.yuko-hisamoto.jp/>

## 沢田 千秋 Chiaki Sawada ピアノ

京都市立堀川高校音楽科、東京藝術大学ピアノ科を卒業。同大学大学院修士及び博士課程を修了。ベートーヴェン交響曲のリストによるピアノ・スコアの演奏及び研究論文にて博士号を取得。ベートーヴェン交響曲ピアノ独奏版他、ピアノ・トランスクリプションの研究及び演奏をライフワークとする。1994年東京文化会館新進音楽家デビューコンサート出演。第4回大垣音楽祭新人オーディション最優秀賞受賞、第17回長江杯国際音楽コンクール優秀伴奏者賞受賞。旧東京音楽学校奏楽堂ニューイヤークンサート、NHK-FMリサイタル、大垣音楽祭、都城音楽祭、東京アーツトリオ米国公演等に出演する他、都内、各地でソロリサイタル、オーケストラとの協演、室内楽、歌曲伴奏等の演奏活動を多数行う。

これまで主に、ピアノを故田辺録、多美智子、故ハリナ・ツェルニー＝ステファンスカ、角野裕の各氏に、音楽学を土田英三郎氏に師事。日本ベートーヴェンクライス運営理事。小山台教育財団小山台会館ランチタイムコンサートコーディネーター(2015～)。東京藝術大学附属高校講師を経て、現在、国立音楽大学講師として後進の指導に力を注いでいる。

CD:ショパンピアノ協奏曲第1番(室内楽版)、ベートーヴェン=リスト編曲交響曲第5番、第6番(Westriver Recording)ハイレゾ配信:グリーグ/ホルベルグ組曲op.40・2つの悲しい旋律 op.34他

## 清水 華澄 Kasumi Shimizu メゾ・ソプラノ

静岡県出身。国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外派遣研修員およびローム・ミュージック・ファンデーション在外音楽研究員として渡伊。新国立劇場、東京二期会、日生劇場などのオペラ公演に出演。2012年日中国交正常化40周年記念公演『アイダ』アムネリス役で新国立劇場と国家大劇院(中国・北京)での公演に出演し、さらに東京二期会『ローエングリン』オルトルート、『サロメ』ヘロディアス、7団体共同制作『アイダ』(札幌文化芸術劇場 hitaru)こけら落とし公演アムネリス、新国立劇場『紫苑物語』(創作委嘱作品・世界初演)うつろ姫等に出演している。コンサートソリストとしてもマラー交響曲第2番『復活』、第3番、第8番『千人の交響曲』、ヴェルディ『レクイエム』、ベートーヴェン交響曲第9番等で国内のオーケストラと共演を重ねている。また近年はリサイタルにも力を入れており、2018年の初の主催公演はNHKでも放送された。名古屋音楽大学客員准教授。二期会会員。

## 阪田 宏彰 Hiroaki Sakata チェロ

国立音楽大学卒業。YAMATO String Quartet 代表。大阪国際室内楽コンクール入選。NHK-FMリサイタル、ニッポン放送公開録音「新日鉄コンサート」などに出演。CD「山田耕柁 室内楽全集」を始め、日本民謡・タンゴ・ロックなど幅広いジャンルのCDをリリース。

群馬交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー、山形交響楽団などの客演首席奏者も務めてきた。桜美林大学講師。

## 吉澤 萌依子 Moeko Yoshizawa ヴァイオリン

3歳よりヴァイオリンを始める。国立音楽大学附属中学、高等学校を経て、現在、国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修(ヴァイオリン)4年、弦管打楽器ソリスト・コースに特別給費奨学生として在学中。ウィーン国立音楽大学夏季音楽セミナー主催、ディヒラーコンクール第2位。第16回チェコ音楽コンクールヴァイオリン部門第2位。これまでに、青木博幸、吉野薫、奥田雅代、永峰高志、漆原啓子の各氏に師事。

## 坂上 ちひろ Chihiro Sakae ヴィオラ

都立総合芸術高等学校音楽科を経て、現在、国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修(ヴァイオリン)4年、弦管打楽器ソリスト・コース在学中。第28回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。第8、9回イカール国際音楽祭に参加。これまでにヴァイオリンを山元とも子、栗原尚子、黒田絵奈、永峰高志、白井篤、ヴィオラを佐々木亮の各氏に師事。

# たましんRISURUホール

〒190-0022 東京都立川市錦町3-3-20

- JR立川駅南口より、すずらん通りを直進。徒歩13分
- JR南武線西国立駅より、徒歩7分
- 多摩モノレール立川南駅より、立川南通りを直進。徒歩12分

TEL. 042-526-1311

受付時間9:00～20:00/第3月曜(祝日の場合は翌平日) 休館

